

Chance Challenge Change

柔軟な発想で試行錯誤し、変化にチャレンジ！

令和3年度
総合的な探究の時間・ぎふグローバル人材育成推進事業
岐阜聖徳学園高等学校
令和3年10月 日 9号

2年総合「他国から見る沖縄①」振り返り

9月17日（金）4限目（11:35～12:20）
2年生（319名）を対象に、先日の「他国から見る沖縄①」の振り返りを開催しました。現在も岐阜県に緊急事態宣言が発令されているため、クラスの半数の生徒は自宅からオンラインで、半数が登校して授業を受けるスタイルで実施しています。



前回授業の振り返り

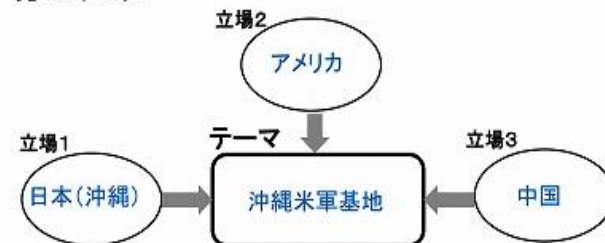
前回の授業で、アメリカの立場、中国の立場からの意見を聞き、それぞれの立場からの見方や考え方があることがわかりました。また、「日米安全保障・沖縄基地問題」についてオンラインで講演して頂いたエルドリッチさんも、沖縄にある米軍基地について、沖縄県民の視点、アジアの安全からの視点、アメリカの視点、また報道の視点についても話していただきました。

一つの問題に対し、立場によってそれぞれ全く異なる意見があり、それぞれの意見を分析し、理解することが第一歩となります。

＜前回授業の振り返り＞

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

氏名: _____
前回の「他国から見る沖縄」の授業の感想を共有してみよう。同じテーマでも色々な立場からの見方や考え方があることを覚えておこう！



世界と地域の課題を解決するには

日本やアメリカ、アジア、中国の安全保障の結び目となっている沖縄の基地問題は、私達だけでなく広く世界における課題ですが、自分たちが住む地域にも様々な課題があり、より良い住みやすい地域にするために、同じように取り組んでいかななくてはなりません。

＜前回授業の振り返り＞

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

世界と地域の課題を解決するには

たくさんの意見を尊重して自分と違う意見を聞いた上で考え方を深める



違う文化、環境で生活していれば、考え方が違うのは当然のこと。だから、たくさんの意見を聞いて、全員にとっていい解決策を作れるのが1番いいと思うから。

＜前回授業の振り返り＞

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

世界と地域の課題を解決するには

相手のことを知ること



相手のことについて知ることによって、その相手の考え方や立場を理解したうえで話し合うことができ、解決につながる。

＜前回授業の振り返り＞

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

世界と地域の課題を解決するには

自国の課題を解決し、それが他国にとって良いのかという視点も大切にする



自国にとっての平和でも他国にとっては悪影響なものかもしれない。むしろ、良い方向に行かせるかもしれない。視野を広げるとは大切であるから

＜前回授業の振り返り＞

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

世界と地域の課題を解決するには

お互いに歩み寄り、互いに問題解決に協力すること



それぞれに利益があるので、歩み寄り、互いの利益を理解して、共に問題解決できるのは、平和的だから

＜前回授業の振り返り＞

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

世界と地域の課題を解決するには

多様な視点を持つこと



この課題について、まず自分で考えてから違う人の意見を理解して、いろいろな視点を持った方がよりその課題について深く考えることもできるから

＜前回授業の振り返り＞

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

世界と地域の課題を解決するには

多様な視点を持つこと。相手に共感すること。



いろいろな方向から物事を見れば、必ず新しい発見があると思う。より理解を深めることが出来ると思うから。違う意見を否定し合うのではなく、一度共感し合えば相手の気持ちも分かる。よりいい考えが生まれると思うから。互に人間として成長出来ると思う。

【ファクトチェック】それ、本当？

ある情報が本当なのかどうかのファクトチェックをするためには、それに対する肯定的な情報・意見と、否定的な情報・意見の両方を集めることが大切です。その上で、よりどちらが根拠のある情報・意見なのかを判断しましょう。

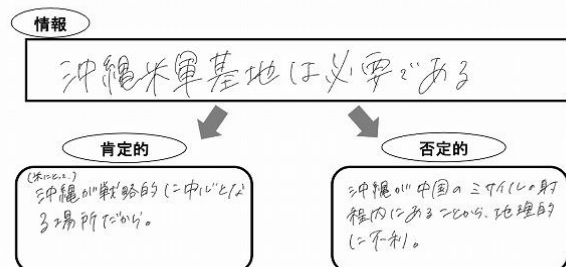


＜ファクトチェック＞それ、本当？

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

ある情報に対して、肯定的な情報・意見と否定的な情報・意見の両方を集めることが大切。その上で、よりどちらが根拠のある情報・意見なのかを判断しよう。

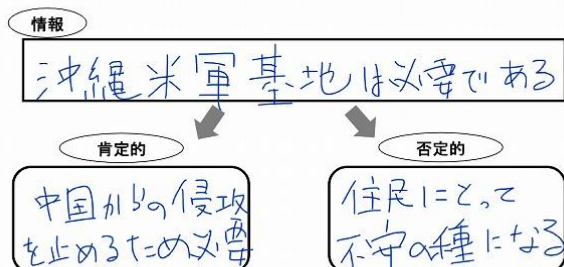


＜ファクトチェック＞それ、本当？

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

ある情報に対して、肯定的な情報・意見と否定的な情報・意見の両方を集めることが大切。その上で、よりどちらが根拠のある情報・意見なのかを判断しよう。

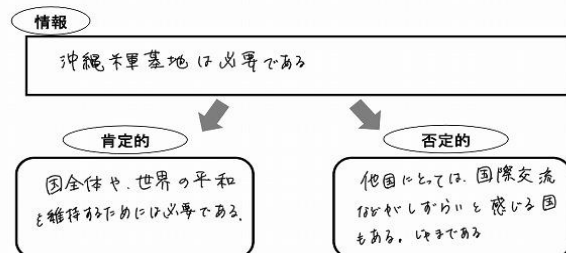


＜ファクトチェック＞それ、本当？

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

ある情報に対して、肯定的な情報・意見と否定的な情報・意見の両方を集めることが大切。その上で、よりどちらが根拠のある情報・意見なのかを判断しよう。

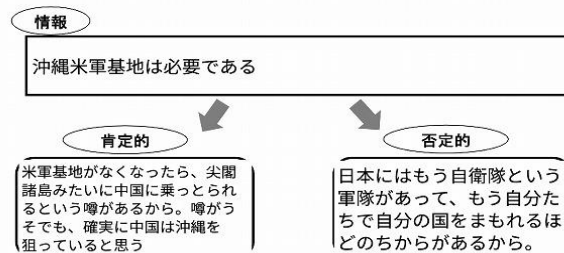


＜ファクトチェック＞それ、本当？

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

ある情報に対して、肯定的な情報・意見と否定的な情報・意見の両方を集めることが大切。その上で、よりどちらが根拠のある情報・意見なのかを判断しよう。

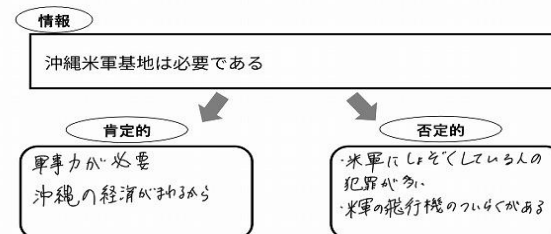


＜ファクトチェック＞それ、本当？

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

ある情報に対して、肯定的な情報・意見と否定的な情報・意見の両方を集めることが大切。その上で、よりどちらが根拠のある情報・意見なのかを判断しよう。

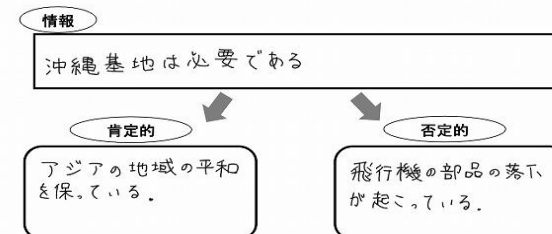


＜ファクトチェック＞それ、本当？

岐阜聖徳学園高等学校
2021年9月17日
探究学習授業プリント

★ポイント

ある情報に対して、肯定的な情報・意見と否定的な情報・意見の両方を集めることが大切。その上で、よりどちらが根拠のある情報・意見なのかを判断しよう。



2年総合「沖縄オンライン研修①」

9月24日（金）4限目（11：35～12：20）2年生（319名）を対象に、沖縄オンライン研修として、「SDGs(持続可能な開発目標)の視点から沖縄の地域の課題を探究しよう」を開催しました。今回以降の沖縄研修については、「近畿日本ツーリスト」と「おきなわ教育ラボ」にご協力いただいて進めて行きます。現在も岐阜県に緊急事態宣言が発令されているため、クラスの半数の生徒は自宅からオンラインで、半数が登校して授業を受けるスタイルで実施しています。

探究活動の進め方

1学期にお伝えしたように、探究とは、課題を見つけて、調査などの活動をし、その成果を発表することです。探究を通して世界と地域の課題を解決するためには「多様な視点を持つこと」が何よりも大切です。SDGsの様々な視点から地域の課題を見つけて、調査・活動し、発表してられる沖縄の8名のゲストティーチャーをお招きし、地域の課題を解決するための方法について学んでいきたいと思います。

課題 ➡ 活動 ➡ 発表

探究

世界と地域の課題を解決するために、大切なことは・・・

多様な視点を持つこと

はじめに

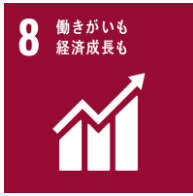
「おきなわ教育ラボ」の神部さんからお話し頂きました。前回まではグローバルな視点から沖縄を見てきましたが、今回からは沖縄のゲストティーチャーを招いて、沖縄のローカルな視点から沖縄を見てもらいます。沖縄は1879年までおよそ470年間、琉球王国という独立した国でした。沖縄には沖縄独自の文化、慣習があります。ゲストティーチャーのお話を聞いて、それはなぜだろう、どうしてだろうという疑問を持ちながら今後の探究活動を進めていってください。

ゲストティーチャー

SDGs目標		講師	内容
1	貧困をなくそう	(株)おとなワンサード代表取締役社長 富田 杏理	おきなわ子ども未来ランチサポートは、子ども食堂などを通し、子供が一人でも簡単に食べられる食料品を配る活動をしています。子供の貧困率や給食が命綱である困窮世帯などの、沖縄と岐阜の現状を探究します。
2	飢餓をゼロに	OrgaNect オーガネクト代表 島袋 優	沖縄の農業について、農業の課題について考えた時に、継続的に課題解決するためにビジネスを作ることにとり着き、有機農業を通して人と人を繋ぐコミュニティやコンサルティングをしています。



3	質の高い教育をみんなに	(株)グレートボヤージュ代表取締役社長 大岩 光昭	大学で有意義な学びをするために、大学に入る前に進路の幅を広げ、自分の将来について考える機会を生徒と一緒に持って考える予備校。貧困世帯の子どもは満足な教育が受けられないため貧困から抜け出すことができない現状があります。教育を通して社会に還元できる人材になってほしいと考えています。
4	働きがいも経済成長も	財全 GROUP 久場 まどか	高校卒業後、海外を旅したのちに大学へ。卒業後、新聞記者を経て、困窮世帯の子供ヘラントセルや制服を支援するプロジェクトに参加し、その経験からWEBデザイナーへ転職。働き方や自分のキャリアの選択についてについてお話しします。
5	人や国の不平等をなくそう	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科准教授 秋山 道宏	地域の文化や歴史を知るために、実際に足を運んで学ぶフィールドワークを重視し、沖縄戦を継承していく活動もしています。大学では沖縄の歴史を知るために地域のことを知り、自分の身近なことを掘り下げています。色々なことを知るむずかしさや魅力についてお話しします。
6	住み続けられるまちづくりを	HELLO WORLD(株)代表取締役社長 野中 光	沖縄にいても日本人の友達ができなかった外国人や、海外留学したいけどお金がなくていけない。このような人たちをマッチングする「まちなか留学」。日本人と外国人をいろんな形で繋げる試みや外国人の生活相談などを



			実施し、多文化共生・仲良く暮らせるまちづくりを目指しています。
7	平和と公正を全てのの人に 	具志堅 政幹 	岐阜に住む高校生が遠く離れた沖縄の問題や課題をどう考えるべきなのか、そもそも考える必要があるのか。民主主義はなぜ大事なのか、人権はなぜ守るべきなのか、など当たり前だと思っている概念を新しい観点で見ることで気づくこと。沖縄に住む人と岐阜に住む人の考え方に違いはあるかなどの観点で話していきたいと思っています。
8	パートナーシップで目標を達成しよう 	若狭公民館 館長 宮城 潤 	地域課題が多様化・複雑化する現代で、格差、貧困、自然災害などの地域課題への色々な取り組みをしています。沖縄にはネパール人が多く、彼らとダンスや音楽を介して交流することでお互いを理解し、地域のお祭りに参加したり、料理教室などの交流に発展し、トラブルを回避することにも繋がりました。公民館の取り組みを通して自分たちの地域をどう見るか、将来どうしていきたいかを考える一助になればと考えています。

今後の沖縄オンライン研修の進め方

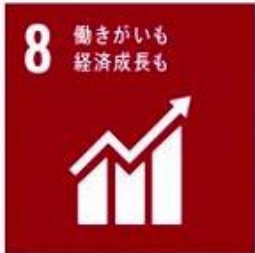
10月1日、8日、15日、22日（金、14：30～15：20）の4回は、各クラスごとにグループ分けと事前学習を行います。8名のゲストティーチャーの話を聞いて、どの課題について取り組みたいかを各自で決め、クラスでグループ分けをしてもらいます。



10月23日（土、9：00～10：50）は「沖縄のゲストティーチャーによるオンライン研修」を実施します。クラスごとに8つのテーマのグループに分かれ、それぞれ各ゲストティーチャーのオンライン研修に参加した後、クラスに戻ってクラスの全員とオンライン研修について共有するジグソー学習を行います。

ゲストティーチャー8名のプレゼンを視聴して、考えたり、感じたこと

	SDG s (持続可能な開発目標)	ゲストティーチャー	オンライン研修のプレゼンテーションを視聴して、考えたり感じたことを書きましょう。
1		富田 杏理さん (株式会社おとなワンサード代表取締役社長)	緊急事態宣言の時にまさくに配されたのは貧困や虐待に悩む子どもで、命懸けで給食を食えないと、学校は安全な居場所がないと、命懸けで私は、その緊急事態宣言をされていた時にまだ下で悩んでいて、あの時、あの子どもたちが安心して暮らせるようになってほしいと思った。
2		島袋 優さん (琉球大学農学部・Organect 代表)	継続的に課題解決する。(学生の間には大きくてもいいこと) その問題を真剣に取り組むことの大切さを知った。そして、問題を他人とは見るのではなく当事者として見るのが大切なのかなと思いました。

3	 4 質の高い教育をみんなに	大岩 光昭さん (株式会社グレイト ヴォヤージュ代表取 締役社長)	教育を受けさせて もらうことは、当 たり前ではない
4	 8 働きがいも 経済成長も	久場 まどかさん (財前グループ (元 沖縄タイムス記者))	沖縄の人の経済的自立に貢献したいという 思いと活動は職種や企業や違っても変わ らないことが分かった。また私も社会の一員として どう関わり貢献していきたいか考えていきたいと 思いました。
5	 10 人や国の不平等 をなくそう	秋山 道宏さん (沖縄国際大学 総 合文化学部 社会文 化学科 准教授)	秋山さんが専攻しているのは 社会学、平和学によるライブラリーを 通じて、身体などを通して沖縄の文化 を学んでいくという取り組みが ある。またライブラリーを通じて活動があるから、 地域のライブラリーを通じて活動が 行きたくなる。戦争を通じて平和を知り てから平和の大切さを伝えることが大切だ。

6	 11 住み続けられる まちづくりを	野中 光さん (ハローワールド株 式会社代表取締役社 長)	日本人と仲良くする大切さ が、国を作ると世界の人の (街)が無くても、実生活に深 みがある。生活も留まる人の ため大事だと思ってる。文化 が異なる国にいても、エリ ヤと子
7	 16 平和と公正を すべての人に	具志堅 政幹さん (早稲田大学卒業 弁護士になるために 勉強中)	沖縄についての問題 について実際に沖縄 にいる人達の考えを 聞きたい。
8	 17 パートナリ シップで 目標を達成しよう	宮城 潤さん (若狭公民館 館 長)	その問題についてどうやって伝えていくか、どう にしたらいいか、どうやって考えてそれを掛け合 いでいくことで解決のステップにつながる。この 深めたい。公民館というところは、いろいろな 機能があれは、それは公民館になることだ。